



主要な農作物の生育情報

平成24年度 第12号
(平成25年 3月13日)
福島県農林水産部農業振興課



【麦類】

農業総合センターにおける本年3月1日現在の小麦の生育は、本部（郡山）では草丈が平年並みからやや短く、茎数は少なめ、葉数は1葉程度遅れています。浜地域研究所（相馬市）では草丈はきぬあずまでやや短めですが、ふくあかりではやや長め、茎数はいずれの品種も多く、葉数はきぬあずまで0.6葉少なく、ふくあかりでは0.2葉多くなりました。幼穂形成始期は、ふくあかりでは本部1/26（前年2/7）、浜地域2/22（平年2/25）、きぬあずまでは本部1/28（平年1/27）、浜地域では2/11（平年2/6）、ゆきちからでは本部3/3（平年3/4）となりました。（会津地域研究所は積雪の影響から3月20日以後の調査を予定しています。）

【野菜】

1 いちご

県内の促成栽培は、概ね平年並みの11月中旬から収穫が開始され、現在、1次えき果房の収穫後半から3次えき果房の収穫開始となっています。生育は低温の影響で平年と比べ7日程度遅れています。

病害虫ではうどんこ病、ハダニ類、アブラムシ類の発生が散見されます。

2 にら

県南地方では、10月中旬に被覆を開始した2年株で4番刈り収穫終了となっています。11月上旬に被覆を開始した1年株で3番刈り収穫後半です。相双地方の12月上旬から被覆を開始した1年株は、2番刈り収穫中です。いずれの地方も低温の影響で葉幅が狭い傾向にあります。

病害では、白斑葉枯病が散見されます。

3 しゅんぎく

相双地方のハウス栽培は、10月上旬定植の圃場で2次側枝を収穫中です。生育は低温の影響で平年より3～6日程度遅れています。

【果樹】（3月11日現在）

農業総合センター果樹研究所の予測によると、今後の気温が平年並みに経過した場合、もも「あかつき」の発芽は3月29日頃で平年より3日遅く、なし「幸水」の発芽は4月4日頃で平年より1日遅く、りんご「ふじ」の発芽は3月29日頃で平年並みと予測されています。

なお、この時期の生育は直前の気温に左右されやすいため、今後の気象経過に注意が必要です。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11224